

# ふらっふ通信

社会福祉法人  
なづな学園  
サービスセンター  
ふらっふ

私たちの事業所の重要な担い手として、「登録ヘルパー」と呼ばれる非常勤の方々がおられます。年齢層は、若い方から高齢期に差し掛かっている方々まで幅広いのですが、特徴として、学生さんが多いことです。その学生さんもほとんどが日頃から社会福祉のことを学んでいる方々です。

2月半ばに、2名の女子学生さんが卒業を控え、4月からは就職されるにあたり、ささやかながら送別会を持ちました。

事業所にとっては貴重な働き手を失うわけですが、一方では、障害福祉サービスや児童福祉の分野での新しい仲間ができる喜びもあります。

ひとつ話題になったのが、障害のある方々への社会生活、日常生活支援のことです。

障害福祉サービスの分野には、様々な支援形態があります。ふらっふのように

自宅等へ出向いて家事支援などを行う形態、毎日自宅から通ってもらい就労支援をする形態、入所施設として毎日支援を続ける形態など実に様々です。

これらの支援の実際は、ヘルパーや専門職員の支援実行とそれを受け止める障害のある方々との二人(に)の場面はどうしてもながちです。敢えて言うとその二人に親御さんとか身内の方が寄り添われることもありませんが、そのあたりまでが大勢かと思えます。

地域福祉のことに話を広げたいと思います。しばしば、政治家、行政、評論家などの方々には、地域住民の理解や協力を得て、地域の課題としてみんなで取り組むことが必要と強調されます。その通りですが、なかなかそうはなりません。場合によっては、地域との接点がなかなか持てず、孤軍奮闘、ヘルパーとの接触が貴重な出会いとなってしまうがちです。

地域福祉の課題解決のことは別の機会に譲るとして、私たち支援員やヘルパーにとってはどうなのかということに触れたいと思います。

単に支援する側、支援される側の二人場面を良しとしてしまうのではなく、もつと地域社会の中に拡大され、地域社会全体で取り組まれる風土を望むばかりです。

介護や支援の世界が語られる時、離職率が高い、給与が低いなどが定番となっていますが、もつと国民みんなの幸せをみんなが築いていくというようにならないものでしょうか。

冒頭のこれから福祉の世界に入っていく若き職員に、出来る限りの社会環境を整えられ、意欲一杯に利用者と接し、利用者や地域の方々とともに喜びも悲しみもが展開されることを願うばかりです。

須山 真行



ふらっふ職員に聞きました！

# 「この1年を振り返って」

毎日があっという間に過ぎて1年が経ってしまいました。この1年は目の前のごく何となくクリアして過ごした1年だったように思います。毎年のことですが、今年度は特に、思い悩み未熟さを感じながらも周りの言葉や対応に助けられていることを実感した気がしています。

個人的には今年度は昨年度と比べると元気に過ごせた気がします。♪実は今年に入ってから節目を迎えました。年齢の一ケタ目が「0」になったのです。まだ何ヶ月も経っていないのですが「0」と聞くと新たに何か始められる気がしています。体調や体力に変化を感じる歳と言われますが、これからも今年度のように元気に生けたらと思っています☆

柳原 明花



今年も公私共に新しいことを経験した一年でありました。私事では運転免許教習所の通学を決め、ゆっくりではありますが歩を進めております。教習所内で車の運転を体験した時は足と腕がぶるぶると緊張に震えていましたが、口だけは達者で初めての運転中にも関わらず、その時その時疑問に思ったことや感じたことを助手席に座る教官に喋りたてていました。車の運転にはその人の性格が出るというこらしいですが、私の場合は周りのことを見てはいるが、物事に配慮する思慮に欠けているのかなと車の運転を通じて感じました。次年度まで残りわずかとなりましたが、先を見据える、配慮するということを意識して一層励んでまいりたいと思います。

松田 健次



ふらっふに入ってもうすぐ2年が経過します。そのような実感は全くなく、今回の記事のテーマを聞いたとき、もう年度を振り返る時期なのかと驚きました。この1年、暑い日や寒い日、豪雨の日・・・様々な気候がありましたね。ふらっぷのお仕事は外へ出かけることが多いので、季節を肌で感じる事が出来ました。来年度も支援を通して変わらずみなさんとお会いできることを楽しみにしています。春からもよろしくお願ひ致します。

長畑 有紀

この1年もたくさんさんの時間を皆さんと一緒に過ごさせていただきました。お出かけしたり、お部屋の片づけを手伝ったり、お食事を作らせていただいたり。一緒に時間を「楽しかった」と感じて下さった。これほど嬉しいことはなく、「気を使ってしんどかった」と感じられていたら、本当に申し訳ありません。ごめんなさい、です。私の中身の濃さや豊かさ、何より誠実さが支援にそのまま現れています。これからも努力を重ね、「今日こそ楽しい時間を！」とみなさんのところへ向かいます。

橋本 朋子



4月にかしの木学園から異動して来て変わったことがあります。一つは朝起きるのが辛くなった。もう一つは夜寝るのが遅くなったことです。利用者さんの余暇や生活に関わる支援をさせていただいてる為、そうなることは仕方ないことなのかもしれない。あと、休みが平日になることが多いので、人が多い日を避けられるのは嬉しいことでもあります。

近年は土・日、深夜関係なく働く方が増えています。ふらつぷの仕事もそれに近い感覚ではないかと感じました。隙間を埋めるといいますか。しかし、全てのニーズに応えられることは難しいのも現状です。人手不足も加わり昨年度は充分な支援ができていないことがありました。今年度はよりニーズに応えられるようにしていかなければと痛感しております。

昨年は花見ができませんでしたので、今年は人の少ない日にゆっくり楽しみたいと思います。もちろん利用者さんとも行きたいので、花見行きたい方は申し込み待ってま

す  
★

渡邊 豊



今年度一年を漢字一文字で表すと「心」です。久々にお会いした利用者さんからは「久しぶりだね、元気にしてた?」というお声をいただきます。風邪が流行っている時期、利用者さんの保護者さんより「ふらつぷの職員さんは大丈夫?気を付けてね」と言っていたきました。現場のヘルパーさんより、支援について具体的に「今回は〇〇だったから、次は△△してみようと思うんだけどどうですか?」という具体的な提案をいただくこともありました。事務所の仲間は、私の足りない部分を指摘し、できない部分をたくさん補ってくれました。「私」という未熟な人間ですが、みなさんの「心」に支えられ、なんとか乗り越えられた一年でした。

瀧本 愛



一年を振り返って  
今年度は変化の一年でした。  
新たな体制の中で始まった4月、どうなるんだろうと少しドキドキしながらも、支援に出るといつもと変わらず笑顔で出迎えて下さる皆さんの顔見るとホッとしていました。  
また4月から新しい一年が始まります。変わらずまた一年皆さんとお出かけできることに感謝しながら、また楽しく過ごさせていけたらと思います。

武野 靖之



4月に新入職員としてふらつぷに配属されてから早1年が過ぎようとしています。この1年私にとって本当に大きな第一歩でした。学生から社会人になり、社会人として働くことの楽しさ、難しさ、そしてなによりも「働く」ということに意味と責任を感じました。今は日々小さなことを積み重ねて、少しは大人になれたのかな?という気持ちと、全然成長できていない!という気持ち両方あります。きつとこの先どんな道を歩むにせよ、もやもやと「これでいいのかな・・・もつとやれることはないかな・・・」と模索しながら進んでいくのかなと思うっています。

なんだか語ってしまいましたでしたがようは一步一步前進あるのみ!です!この1年でただ一つ確かなことはふらつぷにきてから運動するようになり、健康的になりました(笑)  
皆様これからもよろしくお願い致します!

元木 友里恵



## 退職職員からの挨拶

このたび、ふらっぶ職員として2年務められた、瀧本愛さんがこの春で退職される運びとなりました。学生のころから登録ヘルパーとしてもご活躍くださり、皆様とも広く関わってこられたことでしょう。お別れの言葉頂戴しましたのでこの場で掲載したいと思います。本当にありがとうございました。

この度一身上の都合により、三月末で法人なづな学園のサービスマスターふらっぶを退職することになりました。ご縁があり、四月からは東京で暮らす予定です。

この法人で働かせていただいた2年間は、私にとつてほんとうに大切な経験となりました。

たくさんの方の利用者さんや保護者の方、ヘルパーの皆さんと出会ったこと、法人職員として仲間と一緒に働いたことによつて、「今、自分は生き生きしているな」と感じる瞬間が多くなりました。そんな気持ちになることができたのも、未熟な私を皆さんが受け入れて下さったからこそです。たくさんご迷惑をおかけすることもあったかと思いますが、ほんとうにありがとうございました。

この法人での経験を活かし、新しい生活を頑張つていこうと思います。皆さんもお体に無理をなさらず、今のままの素敵な笑顔でいてください。ほんとうにありがとうございました。

瀧本 愛

## 編集後記

全国各地で続いた寒波もようやく収まり、暖かな春の陽気がやってきましたね。あちらこちらで様々な「春の嵐」が吹き荒れています。

今回のテーマは、「1年を振り返つて」、自分自身を振り返るものでした。それぞれの職員がそれぞれ想いながら日々、皆様と一緒に時間を過ごさせて頂いています。ふと振り返ってみると色々な想いが出てくるものですね。

さて、春は別れと出会いの季節ともいいますが、ふらっぶからは、素敵な笑顔で、穏やかでとても丁寧な支援をされていた瀧本さんが、このたび退職されることとなりました。そして、4月から新たな職員が異動してくる予定となっております。別れは、寂しいものですが、その分新たな出会い・新たな出来事が訪れるものですね。

来年度も、皆様の生活に寄り添える支援が行えるよう、ふらっぶ一同、一層努力していきます！

また次回、新しいメンバーを皆さんに紹介できることを楽しみにしております。それでまた次回お会いしましょう。

R